

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ES12D002		学校経営実地研究 (School Management Practice II)					実習科目 学校経営コース									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	3	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 山崎清男、福本昌之、大島崇、有定裕雅、小池一彦  E-mail 内線										
授業の概要	学校経営実地研究 を踏まえ、管理職(校長・教頭)の職務について適宜補佐することを通じて、観察・体験し、学校管理者として新しい学校づくりの方策を立案する能力を養うことを目的とする。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 管理職の職務について必要な補佐を行うことができる。																
目標2 新しい学校づくりへ向けた方策立案を行うことができる。																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 事前指導																
2 第1週(5日間)																
3 第2週(5日間)																
4 第3週(5日間)																
5 事後指導																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング ポイント ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	他の科目で学習した理論枠組を活かして実践を分析し課題の発見とその解決策を探る。また、自らの実践や観察対象の実践を評価し改善策を見出す。				工夫 その 他の										
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修 事後 学修															
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%														
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%														
注意事項																
備考																
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	有定裕雅：大分県立高等学校教員・校長、大分県教育委員会職員 小池一彦：大分県公立中学校教員・副校長、大分県教育委員会職員

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ES12D002		学校経営実地研究 (School Management Practice II)					実習科目									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	3	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 山崎清男、福本昌之、大島崇、有定裕雅、小池一彦  E-mail 内線										
授業の概要	学校経営実地研究 を踏まえ、管理職(校長・教頭)の職務について適宜補佐することを通じて、観察・体験し、学校管理者として新しい学校づくりの方策を立案する能力を養うことを目的とする。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 管理職の職務について必要な補佐を行うことができる。																
目標2 新しい学校づくりへ向けた方策立案を行うことができる。																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 事前指導																
2 第1週(5日間)																
3 第2週(5日間)																
4 第3週(5日間)																
5 事後指導																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング ポイント チェック シート グループ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	他の科目で学習した理論枠組を活かして実践を分析し課題の発見とその解決策を探る。また、自らの実践や観察対象の実践を評価し改善策を見出す。				工夫 その他										
時間外学修 の内容と時間 の目安	準備 学修 事後 学修															
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。															
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%														
	実習日誌や観察記録等の資料作成	20%														
注意事項																
備考																
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	有定裕雅：大分県立高等学校教員・校長、大分県教育委員会職員 小池一彦：大分県公立中学校教員・副校長、大分県教育委員会職員